

図書館業務支援ボランティア「図書館サポーター」からの自由意見

◆施設

- ・幼稚園児、低学年を中心とした部屋の工夫
- ・ビデオ、DVDの視聴可能な部屋の設置
- ・ボランティアのミーティングルームの設置
- ・活動団体も使用できる会議室。
- ・自由にミーティングのできるロビー、コーナーの設置
- ・ボランティアのための小会議室を。
- ・研究（資料探し）室と中高生のための学習室、弱者のための特別室
- ・小展示室、小ギャラリー、幼児向けCDの視聴対応室の設置
- ・CDなどを試聴できる部屋の設置を。
- ・視聴覚室の設置（CD、DVD等の内容充実とヘッドホン使用しながらの読書）
ヘッドホンのBGMは川のせせらぎや鳥の鳴き声等の自然の心がいやされる音楽
- ・市民のための小さなギャラリーを設けてほしい。
- ・読書会、学習室、その他の会合が持てる部屋がいくつか欲しい。
- ・トイレ、エレベーター、照明、階段のすべり止めなど
- ・環境整備…安全、安心の施設の設置
- ・飲料できる場所もあるといいですね。
- ・閲覧室を離れた場所に、簡単なお茶のコーナー（有料でも）あれば有難いです。
- ・自販機を設置してほしい。ただし、そこでしか飲食できないようにする。
- ・コーヒーを飲みながらヘッドホンで音楽を聴いたり、静かに雑誌を見たりできるサロンのような部屋があるといいのですが。
- ・飲食のできる食堂、レストランを併設してほしい。
- ・軽食のとれる喫茶コーナー。（施設から出なくても飲食ができる。）
- ・「人の集まれる場所 生涯学習の場を設けてほしい」 小牧市には楽しく人の集まれる場所がない。公民館や市民会館など場所はあるが、人が集まったのしく過すスペースではない。場所があっても楽しく過ごせるものではない。図書館は、まず人をひきつけるものである。でも、本を読むことだけに目的を求めてはいけない。人が集える雰囲気を持たせてほしい。
 - ① 気楽に集まれる場所があること。管理されないスペースである。
テーブルとイス、自販機があればよい。数人が集えるスペースで十分。
 - ② 学習スペース。本を読んだり、勉強のできるスペース、20人程度は入れる簡単なものでよい。
 - ③ 展示コーナー。有料でなく無料とする。展示使用料が高すぎる。自分たちの作品を展示し、見学し、集まって楽しく話し合える場所。
- ・幼児・小学生・中学生・高校生・大人が利用しやすいように考えてほしい。

- ・夏休み・冬休みなど、勉強する子ども・学生が多くできるようにスペースを広くとってほしい。
- ・市民、学生のための学習室を多く。
市民の誰でも（学生も含む）が学習できる場所の確保。ただし、夏休みや試験前など学生が集中すると思われる時期は、フレキシブルに使用できる部屋を用意したり、一部学生が使用できないコーナーの確保が必要。
- ・図書館でゆっくり落ち着いて本を借りることができること。そして借りる本を見る机・イス・スペースを多く広くしてほしい。
- ・デザイン性より機能性を重視してほしい。
- ・徹底的にバリアフリーにしてほしい。
- ・障害を持った人が来館を躊躇しないハード、ソフト面の整備。
(例) バリアフリー。車イスの人が届かない書架から本を探すお手伝いができる職員やボランティアの配備等。
- ・手芸や工作等の趣味の体験コーナー（指導はボランティアの特技を持つてる人）
- ・子どもの階と成人の階を分けて静かな環境で本を読んだり勉強できる場所を作って欲しい。
- ・開架図書は、書棚を高くしないでください。居心地の良い空間にし、ところどころで座って読めるようにしてはどうかと思います。
- ・書架を低くして、明るい伸びやかな空間づくり。
- ・メモなどできるようなテーブルの設置を。（現在は、申込みなどの書類を書く程度）資料集めのためにも。
- ・ゆったりと調べものができる席を作って欲しい。
- ・子どもコーナーと大人コーナーのフロアをしっかりと分ける。ただし、家事など主婦向けのコーナーは子どもコーナーに近いほうが子ども連れのお母さんには安心。
- ・市民の生涯学習の拠点、市民と行政の協働の拠点をつくる。
(事務局：今後の新図書館設計や運営方法の策定の中で、それぞれについて実現できないか検討していきます。)

◆設備

- ・新聞・雑誌・閲覧室の机・イスの設置
- ・コピー機を一般開架書庫に設置を。
- ・検索入力できるパソコンを数台設置してほしい。
- ・雑誌は無断持出予防のために？ 表紙のコピーだけが書架に置かれており、受付で閲覧を申し出ていますが、なるべく実物を書架に置けるように何か少し工夫があればいいなと思います。
- ・新聞等を疲れずに読める平机を多くしてほしい。
- ・初めて訪れた人でも、すぐに目的のコーナーへたどり着くような、分かりやすい配置や書架の表示。
- ・インターネット用パソコン、検索用のパソコンの充実。（今後使用がますます増加する。）

- ・閲覧コーナーの多様化。閲覧者が状況に合わせて好きな姿勢で本を読める。
(例) 大テーブル席、小さな補助テーブル付の一人がけ用イス、畳コーナー、周囲の視覚をさえぎった一人用ブース、テラスコーナー、個人用ビデオ、DVD・CD視聴覚コーナー等。
 - ・活動団体が会報の作成など自由に使える作業室。(パソコン、印刷機)
 - ・常設のシアター
 - ・学習室(静かな)
- (事務局：今後の新図書館設計に向けて、設備や配置備品等の内容、また、スペースの有効活用を検討していきます。)

◆資料

- ・CD、ビデオをもっと多くしてほしい。
 - ・政治、経済関係の本や雑誌をもっと早く、多く揃えてほしい。
 - ・洋裁等流行の影響のある本(月刊誌等定期的な出版物は除く)は随時新しい本に入替える。
- (事務局：来年度以降、新収書方針の策定を始めますので、その中で検討していきます。)

◆運営・運用

- ・支所図書館や他図書館からの取り寄せ書籍作業の迅速化を。今は最低で10日～2週間かかる。
- ・時間延長や休日開館だけでいいのか。365日開館を全国にさきがけて実施してはどうか。
- ・貸本屋的発想をやめる。市民のオアシスであり、学び続ける人の施設であり、弱者にやさしい発想とコンセプトを中心に進めてもらいたい。
- ・21世紀は人口形態の変化から図書館の利用も多様な世代に様々な利用形態が求められる、次の点を考慮した施設を。
 - ア. 子育て支援
 - イ. 弱者に対する支援(障害者・高齢者)
 - ウ. 学校教育の一環としての支援(学習室の確保)
 - エ. リカレント対応の支援
 - オ. H18年臨時教育審議会の趣旨を踏まえ「いつでも」「どこでも」「いつからでも」学ぼうとする人々への支援
 - カ. 社会人への支援
- ・ボランティア活動と市民協働参加型の企画の充実
- ・図書館が市民にとって貸本屋的存在から脱皮を図るには、行政・委託業者・ボランティアが検討会・反省会を持ち、また、一般市民から2ヶ月に一度ぐらい意見を聞く会を持ち、市民による市民のための図書館作りがコンセプトの中核とならなければならない。
- ・絵本の読み聞かせの部屋は、広く、明るく、ステージ(ちょっとした舞台)があればエプロンシアターや人形劇など出来るかも。

- ・本を大切に扱ってほしい内容の告知・PRをもっとしっかり、きつくやった方がよいと思います。
- ・受付や貸出しカウンターの近くでコピーができるようにする。
- ・絵本図書館との関係を明確にしてムダ・ムラ・ムリを無くす様にする。
- ・まなび創造館、市民センター、市民会館、公民館等との活動の連携とともに、個々の施設の活動コンセプトにどのような違いを持たせるのか？
(事務局：新図書館の運営について、経費の削減とサービスの向上の両立を図りながら、各ご意見について検討を進めていきます。)

◆職員

- ・委託業務職員や市の事務職員では対応の不適格性が認められる。図書館に専門職員が不足している現状を市民側から見ると、専門医のいない病院に等しい。
- ・購入する本を選ぶ人は多方面に知識のある人が良いなと思います。…(借りたい本が小牧にはなくて春日井の図書館に行って借りることが多々あります。)
(事務局：新図書館の開館までの間に、職員や従事者の採用や教育方法についても検討していきます。)

◆その他

- ・日頃は味岡市民センターの図書室を利用していますので、身近な場所として、立寄り場所、待ち時間帯にちょっと探しもの、等と気楽に利用しています。スペースも程々でとても静かです。熱心にメモを取る方、読書する方、新聞だけ目を通していく方、季節によってもいろいろ、上手に時間を過ごして居られる様々な利用方法を見かけます。
○○○はありますか？ …まだ入っていません。4～5日待ってください。
リサイクル棚は？ …表紙の無くなった雑誌か冊子がほとんどで。
○○○のCDを探していますが？ …棚にあるのが全てです。
不用図書のリサイクルを公民館でお手伝いした頃のもの …行き先は？
恒例の蔵書整理(コード読取り)はどんなことでお役に立っているの？
利用する側のマナーの反省点も沢山ありますね。
- ・本が好きな人が集まる施設ではなく、ふらっと立ち寄って見たら、いつの間にか本が好きになっていたというような、いろいろな人が集まるような魅力的な施設にしてほしい。
(立地条件が良いので、最大限に生かす。)
- ・「生涯学習ボランティア・こまき」の室を作ってほしい。
- ・各種講座の開設
- ・現在公民館にある市民活動センターを移す。(わざわざ出かけるのではなく、ついでに立ち寄れると思う感覚が大事)
(事務局：運営方法だけでなく、適切な対応やご返事ができるよう、窓口対応全般の向上を進めていく必要があると再認識いたしました。)